

## おいでん・さんそんセンター森林部会の紹介

- 描く未来** 地域にさまざまな森づくりの担い手がいて、豊田市の森の公益的機能を高めながら森の恵みを活かして暮らしている。
- メンバー** 地域住民、専門家、森林ボランティア団体、NPO、森林組合、市森林課 など10名程
- 事務局** おいでん・さんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）

### 取組み事例①「半農半林塾」

地域住民（山主・移住者を問わない）による、森づくりの基礎知識を持ち、林分調査や間伐がおこなえ、間伐材の有効利用を通じて収益を得る「半農半林隊」の設立を提案。ゆくゆくは地元の山主が、半農半林隊に山の管理を委託してくれるようになることを目指している。その構成メンバーを育成する「半農半林塾」を2014年に開講。今年度、4期目を迎えている。

※県の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の採択事業（2017年度～）



### 取組み事例②「はじめての山仕事ガイド」発行

森林と関わることに豊かな暮らしを見出そうとする人のための山仕事入門ガイドであり、健全な森づくりに多くの人々が関わることで安全で持続可能な地域をつくるためのヒントと情報を提供するため制作。

#### 制作スケジュール

2016年度：「Part1 人工林に関わる山仕事～持ち山の**ない**人のために～」パンフ

2017年度：「Part2 人工林に関わる山仕事～持ち山の**ある**人のために～」パンフ

2018年度：「Part3 天然林・竹林に関わる山仕事」パンフ

※2018年度以降、これらを集大成したガイドブックの自費出版を目標。



### 取組み事例③「原木しいたけ栽培研修」

原木しいたけ栽培に取り組む技能と知識を有した人材を地域内に育成するため、研修事業を開催。森の恵みで豊かな暮らしをつくりたいU・Iターン者、原木しいたけ栽培を生業のひとつにしたい人などを募り、広葉樹林の利用とその保全を目指している。2017年度からスタート。

※県の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の採択事業（2017年度～）



▲研修生によるコナラの伐倒作業



▲研修場所である日下部町（旭地区）の雑木林